

まちづくり子ども大学の取り組み

子どもたちが“まちづくりの主人公”となった「まちづくり子ども大学」が開催

まちづくりに子ども自身の参加と提案を活かしていくために、1996年の夏季教育活動から、ヒューマンライツ教育財団の主催事業として『まちづくり子ども大学』が実施されました。1996年の夏季教育活動において、西成地区で進められている街づくり運動にあわせて、子どもの視点で街づくりを考えるプログラム「めざせ！わんぱく合衆国 まちづくり子ども大学（探検隊・撮影隊）」というものです。街づくりを大人たちや一部の行政の人達だけでのものにするのではなく、将来西成の街の主人公となる子どもたちが、自分の街のありかたを考え、発言していこうということで企画されたプログラムです。小学生から高校生まで40名余りが参加し、10日間にわたって「わんぱく探検隊」「わんぱく撮影隊」の2グループに別れ、ワークショップ形式の学習会や計画・提案づくりと実際のフィールドワークを行っています。

わんぱく撮影隊の活動の一コマ



すべての人にやさしいまちづくりコースの車いす体験



まちづくり子ども大学での活動は、子どもの視点からみる“まちづくりに対する提言”としてまとめられ、街づくり委員会に提出し、まちづくりに活かされることになりました。

【目的】

- 西成で進展するまちづくりに子どもの視点で提案するための土台づくりを行う。
- まちづくりと人権という視点で結合して学ぶ。
- ワークショップスタイルを導入し、参加型学習実験を行う。
- 地域外から学生やNGO関係者などの参加を求め、地域内外の関係づくりをすすめる。
- 子どもの未来像を広げるなど、ヒューマンライツ教育財団としての教育事業の今後を模索する。

こうした目的のもとに、子ども大学参加者全員で、ゲーム等を通して、自己紹介、子どもの権利条約、街づくりなどについて学び、信頼と親睦を深めるなかでグループを編成し、それぞれのテーマに沿って提言をまとめるため5つのグループをつくりました。

- ☆ すべての人にやさしいまちコースグループ
- ☆ 楽しい学校をつくるコースグループ
- ☆ 西成の公園をつくるコースグループ
- ☆ 自然にあふれるまちづくりコースグループ
- ☆ わくわく商店街をつくるコースグループ

このグループごとに、子どもたちは、街づくりゲームや西成の街のチェック行動、他の商店街や公園・学校施設等や自然環境を調査・探検していくなかで、西成の街の将来像を自分たちの手でつくっていき、街づくりに対する“子どもの意見”として、各グループの要望書としてまとめられ、街づくり委員会に提出されました。また撮影された記録はビデオ「未来予想図」になり、まちづくり研究集会等で発表されました。

また、こうした取り組みの経験は、その後の北津守公園のリフレッシュ工事に関する「子どもワークショップ」の開催（1997年11月）にも生かされました。

こうした経験は、西成のまちづくりの課題解決への取り組みとして、大阪市内では最初となる「ビオトープ池」を完成させるなど、まちづくりに活かされました

さらに、「池をつくろう」ということになりました。西成のまちづくりの課題として、子ども自身の参加の保障があり、また「水と緑の環境づくり」や「防災のまちづくり」がありました。

「池」は「近自然工法」と呼ばれ、コンクリートづくりでなく、ゴムシートを底に敷き、雨水をためて自然浄化させながら緑を繁殖させるトンボ等が集まる池、“ビオトープ池”を進めるもので、場所は青少年会館でした。このビオトープ池は、「樋口池グループ」の田原潮二代表の協力を得て進められました。田原さんを講師にした学習会、池の見学会を実施し、11月から子どもたちを中心に池づくりを始め、12月の「にしなり子どもフェスティバル」の中で、大阪市内では最初となる「ビオトープ池」の完成式を行っています



まちづくり子ども大学わんぱく探検隊 要望書

- **駅について**
 - ・電車とホームの隙間をなくしてほしい
 - ・大きなエレベーターを付けてほしい
 - ・駅員さんと呼ぶブザーをよくわかる場所にたくさん付けて欲しい
- **道について**
 - ・電信柱を無くして欲しい
 - ・歩道を広くして欲しい
 - ・車を地下に走らせて歩道橋を無くして欲しい
 - ・道をきれいにし、平にして欲しい（舗装をする）
 - ・線路の溝をなくす装置を付けて欲しい
- **案内板について（駅のホームとか、改札口にあるもの）**
 - ・いろんな言葉で書いてほしい（例：イタリア語、フランス語、中国語、ハンガール語、点字等）
 - ・音声付き案内板（字が読めなくてもわかるもの）
 - ・ひらがなや大きな文字で、わかりやすい案内板がよい
 - ・見ただけでわかるマークをつくって欲しい
 - ・トイレの場所や危険を知らせる案内板をつくって欲しい
- **その他**
 - ・ホームレスの仕事と住めるところを増やして欲しい
 - ・街のトイレを清潔で安全でだれでも使いやすいようにして欲しい
 - ・トイレを洋式トイレと手が届くところにフックや棚を付けて欲しい
 - ・路上駐車のない街がいい（自転車も）
 - ・自転車置き場を無料にして欲しい
 - ・休めるところをもっと作って欲しい
 - ・商店街を広くして欲しい
 - ・店の品物をはみ出して置かないでほしい
 - ・ポストや自動販売機など、子どもの手の届く高さにして欲しい
 - ・商店街の中に自転車の通る専用の道や駐輪場を造って欲しい
 - ・喫茶店などの固定イスをやめて欲しい
 - ・店の品物を手の届く（子どもなどに）高さにして欲しい
 - ・入口や通路の広い店にして欲しい
- **僕たちは、自然にあふれるまちづくりについて考えました**
 - ・虫がたくさんとれる森が欲しい
 - ・魚釣りができる川が欲しい
 - ・安全な川と滝が欲しい
 - ・木津川がきたないから、きれいにしたい
 - ・キャンプ場が欲しい
 - ・ただで入れる、星を見る館が欲しい
 - ・ごみのない街にして欲しい

➤ **僕たちは、西成の公園について考えました**

- すごく高いすべり台と広いすべり台
- 大きなアスレチック
- 4人と2人乗りのブランコ
- 水遊びのできる川や池や噴水
- 保育所の子が遊べる恐竜のすべり台
- 雨の日でも遊べるように（積み木、バスケット、エレベーター、本、おもちゃ）のあるプレイルーム
- 車イスの人もは入れるようにスロープやエレベーター
- ターザンゴッコができるロープウェー
- のどがかわいたとき自動販売機
- 障がいのある人も入れるトイレ
- 遠くからもこれる自転車置き場
- テニスコートやサッカーコート
- 老人が運動できるゲートボール

以上のような公園をぜひ造ってください。

今のチビッコひろばの場所を使って新しい広い公園を造ってください。

テントで生活している人達の家を造ってください。

➤ **こんな学校を造ってください**

- 教室と廊下のあいだに壁のない学校
- 生きもののいっぱいいる学校
- いろんな教室（パソコン教室など）が充実している学校
- 幼稚園から大学院5回生まで一緒になっている学校
- 遊具がたくさんある学校
- 廊下とか教室が広い学校
- 明るい学校
- いろんな人が一緒にいれて、いじめのない学校
- 映画、自習、遊びの時間のある学校

➤ **私たちは、西成に住んでいる人がたくさん買い物にきてもらえるようなわくわくする商店街について考えました**

- 車で買い物にこれるように駐車場を造ってください
- 駐輪場もつくってください
- 車イスが通りやすい道をつくってください
- 商店街が明るくなるアーケードをつくってください
- 店の前にある段を無くして、車イスの人もらくに入れるようにしてください
- 商店街の中の道を明るい感じに舗装してください
- 子どものすきなお店をいっぱいつくってください

出典：一変身、5年の軌跡— 西成の部落解放運動 発行日：1998年7月15日

発行：部落解放同盟西成支部

：『96年西成まちづくり研究集会—西成のよさ 再発見—

発行日：1996年11月16日

発行：西成地区街づくり委員会